

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エネルギー環境課
 担当名: 創エネルギー推進担当
 内線: 3024 (単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|----------------|---------|---|-----|------|---------|--------------------|-------------|
| B15 | 水素エネルギー普及推進事業費 | | 一般会計 | 総務費 | 環境費 | 環境保全推進費 | 低炭素分散型エネルギー社会構築事業費 | |
| 事業期間 | 平成26年度～ | 根拠法令 | エネルギー政策基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律・地球温暖化対策推進条例 | | 宣言項目 | 10 | 新たなエネルギー社会の構築 | |
| | | | | | 分野施策 | 051142 | 環境に優しい社会づくり | |
| 1 事業概要 | | | 5 事業説明 | | | | | |
| 国が平成31年3月に改訂した「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を踏まえ、水素エネルギーの活用や普及啓発活動を実施する。 (1) 県庁S H S維持管理費 △861千円 (2) 普及推進協議会運営費 △ 3千円 (3) 燃料電池自動車導入効果検証費 △ 72千円 | | | (1) 事業内容 ア 県庁S H S維持管理費 設備の賃貸借、保守管理、修繕等 11,330千円 → 10,469千円 イ 普及推進協議会運営費 委員謝金、会場使用料等 111千円 → 108千円 ウ 燃料電池自動車導入効果検証費 効果検証委託費等 3,851千円 → 3,779千円 (2) 事業計画 平成26年度 水素エネルギー普及推進協議会の創設 平成28年度 県庁S H S運用開始、下水汚泥利活用の実証、燃料電池補助制度創設 平成29年度 燃料電池の普及啓発事業の拡充 平成30年度 県庁S H Sを活用した水素エネルギーの普及啓発の実施 令和 2年度 燃料電池自動車導入による環境負荷低減効果の検証を実施 (3) 事業効果 ア 水素エネルギーの利活用を県民に広く周知 イ 燃料電池自動車・燃料電池バスの導入による環境負荷低減 (4) 補正予算の概要 ア 契約差金に伴う減額 △597千円 イ 執行節減に伴う減額 △339千円 | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 普通交付税 (包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策 | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円 | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △936 | | | | | | △936 | 14,356 |
| 現計額 | 15,292 | | | | | | 15,292 | |